

2026 年 7 月 13 日



各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス テ ム リ ム
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 岡 島 正 恒
(コード番号:4599 東証グロース)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 植 松 周 平
(電話番号:072-648-7152)

再生誘導医薬®レダセムチド(HMGB1 断片ペプチド)の心筋症、陳旧性心筋梗塞、およびそれらに起因する慢性心不全を適応症とした特許登録(カナダ)のお知らせ

当社から塩野義製薬株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役会長兼社長CEO:手代木 功)へ導出済みの再生誘導医薬®開発品レダセムチド(HMGB1¹⁾)より創製したペプチド医薬、開発コード:S-005151)を利用した**心筋症、陳旧性心筋梗塞、およびそれらに起因する慢性心不全**に対する新規治療に係る用途特許について、下記のとおりカナダにおいて特許が登録されることとなりましたので、お知らせいたします。

発明の名称 : 心筋症、陳旧性心筋梗塞および慢性心不全の治療薬
出願地域 : カナダ
出願番号 : 3,051,825号
登録(公告)番号 : 未定
出願人 : 株式会社ステムリム、国立大学法人大阪大学

本特許は、現在開発が進んでいるレダセムチドの適応範囲の拡大を目的とするものであります。心筋症、陳旧性心筋梗塞、および／または、それらに起因する慢性心不全を対象としたレダセムチドの用途特許は、すでにアメリカ、メキシコで成立しており、今回の特許成立により、北米地域において、心筋症、陳旧性心筋梗塞、および／または、それらに起因する慢性心不全に対するレダセムチドを用いた治療薬開発の可能性を担保することができるものと考えます。

心筋症は、心筋の異常により心臓の機能が低下する疾患であり、患者の生活の質に多大な影響を及ぼすため、早期発見と適切な治療が極めて重要とされています。本疾患に関連する市場規模は、全世界で2023年には19億ドル、2031年には30億ドルに達すると予測されており、今後も高い成長率が見込まれている状況を背景に、各製薬企業において様々なアプローチを通じた治療薬の開発が積極的に進められています。当社におきましては、2024年3月より大阪大学医学部附属病院において虚血性心筋症を対象とした第Ⅱ相医師主導治験を開始しております。本治験では、虚血性心筋症患者に対するレダセムチドの有効性および安全性を評価することを目的としております。

なお、本件による2026年7月期通期業績への影響はありませんが、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上

1) HMGB1 (High Mobility Group Box 1): 体内の間葉系幹細胞を患部に誘導する細胞の核内タンパク質の1つ

※「再生誘導」、「再生誘導医薬」、「再生誘導医学」、「再生誘導医療」はステムリムの登録商標です。